

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 3 月 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 行政評価施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 予算科目, 法令根拠, and checkboxes for various project types like 実施計画上の主要事業, 未来プロジェクト事業, etc.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

(事業の内容) 私立幼稚園(星の宮幼稚園)に対して、幼稚園の運営費に係る費用の一部を補助し、公立幼稚園と私立幼稚園の保護者経費負担の是正し幼児教育の振興を図る。
(業務の内容) 補助金申請書受付事務、補助金交付決定事務、補助金支払し事務、実績報告事務
(予算の内訳) 負担金補助及び交付金

(1) 事務事業の目的

Table with 4 main rows for ①手段, ②対象, ③意図, ④結果, and 5 sub-rows for ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標. Includes units like 園, 人, %.

(2) 指標値の推移

Table showing trend of indicator values from 18年度 to 23年度. Columns include 区分, 単位, and years. Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input volume (business expenses) trend from 18年度 to 23年度. Columns include 区分, 単位, and years. Rows include 事業費 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), and トータルコスト(A)+(B).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

旧岩瀬地区において、桜川市立幼稚園と私立幼稚園に対する経費負担軽減措置
少子化対策の面からも、就園しやすい環境を整えることにより子育て支援につながるものである。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

幼稚園設置者から、今後も継続してほしいとの声がある。

事務事業名	私立幼稚園運営費助成事業	事務事業No.	31629009	所属課	学校教育課
-------	--------------	---------	----------	-----	-------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 補助金を交付することにより施設整備の充実や備保護者の経済的負担の軽減は図られるが1園のみの助成である。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 保護者の経済的負担の軽減と公立幼稚園と私立幼稚園に対する格差を是正を図ることが目的であるが、私立星の宮幼稚園のみの助成となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 保護者の経済的負担の軽減と公立幼稚園と私立幼稚園に対する格差を是正を図ることが目的であるが、私立星の宮幼稚園のみの助成となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 補助金を交付している以上は現状維持 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 私立幼稚園(星の宮)の運営費負担が増える。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> ⇨ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 補助金を交付している以上は現状維持 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 年間に8時間程度の事務であり人件費の削減余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 私立幼稚園1園のみの助成であり、受益者負担が公平でない。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 私立星の宮幼稚園のみの助成であり、受益者負担が公平でない。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○		×																		
	低下		×	×																		
(3)-1 改革改善策																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項